

新会長就任のごあいさつ



社会福祉法人 京都社会事業財団
会長 野口 雅 滋

4月1日から会長に就任しました野口です。当法人の起源をたどりますと、大正4年（1915年）に発足した中央慈善協会京都府支部にさかのぼることができ、法人の名称が現在の「社会福祉法人 京都社会事業財団」に変更されたのは昭和27年5月20日の事です。これは戦後になって、昭和26年に制定された社会福祉事業法（現在の社会福祉法）に対応したものでした。その時会長に就任されたのが、箕和田益二先生で20年間会長を務められました。その後を受けて会長に就任された山下政行先生が31年間会長を務められ、その後松原義人先生が12年間会長を務められました。私が社会福祉法人 京都社会事業財団という名称で社会福祉法に則って法人が運営されるようになってから四代目の会長ということになります。今後とも何卒、ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願ひ申し上げます。

その社会福祉法人制度の根幹である社会福祉法の改正が今年国会で成立し、来年平成29年4月1日より、66年ぶりに抜本的に改正された社

会福祉法の下での社会福祉法人運営が求められることになりました。今回の改正は、いわゆる社会福祉法人の内部留保問題や一部の新聞による社会福祉法人の見直しの中で行われた、厚生労働省社会保障審議会の福祉部会での検討の結果を受けての改革です。まず①経営組織のガバナンスの強化、が求められました。評議員会が必置となり、評議員会が最高議決機関で、理事会は業務執行機関になりました。理事と評議員の兼務もできなくなります。②事業運営の透明性の向上も求められています。当法人は一年よりホームページで財務諸表をすべて公開しています。役員報酬基準の公表も求められます。③財務規律の強化が求められ、いわゆる内部留保の明確化が求められました。余裕財産が存在する法人に対しては、社会福祉事業等に再投資することが求められました。そして④地域における公益的な取組を実施する責務が明確に法律で規定されました。社会福祉法人ですから当然社会福祉事業や公益的の事業を行っているわ

けですが、無料または低額な料金で福祉サービスを提供することが責務であると規定されたのです。

以前は社会福祉法人のみが行っていた事業に、種々の形態の事業主体が参入してきます。同等の事業を行っているのに、どうして社会福祉法人だけが、「特定公益増進法人」として税の優遇措置を受けているのかという議論もあります。つまり我々社会福祉法人は、民間ではできないサービスを提供しているのかを自問し続けることが必要です。法律での規定や予算措置がされていなくても、地域から必要とされる公益的の事業に取り組みことが求められています。

最初に述べましたように、当法人は社会福祉法という法律が出来る数十年前から社会福祉事業を行ってきています。法律や予算措置など関係なく、社会福祉を実践してこられた先人のご苦労に思いを致し、地域の為にとのような福祉を提供できるのかを模索し続けていく事が、今まさに求められているのだと思います。

新しい施設長の紹介

◆ 4月より各施設で新しい施設長が着任しました ◆

ももの木学園

新園長



園長
石坂好樹

京都桂病院 精神科 部長
前 京都桂看護専門学校 校長

京都桂病院

新院長



院長
若園吉裕

前 京都桂病院 院長補佐

にしがも舟山庵

新施設長



施設長
山本みどり

前 にしがも舟山庵 施設長補佐
西陣病院 医療社会福祉課

昭和保育園

新園長



園長
海老原久美子

前 昭和保育園 園長代行

3月の理事会・評議員会の報告

3月26日(土)、京都桂病院ホールにて開催されました。当日の審議事項は以下のとおりです。

- 現会長の退任及び新会長の選任について
- 京都桂病院院長の選任について
- 昭和保育園園長の選任について
- にしがも舟山庵施設長の選任について
- 職務担当責任者の選任について
- 苦情処理のための第三者委員委嘱について
- ももの木学園の事業追加について
- 基本財産の変更について
- ももの木学園の事業計画実施に伴う事業用運転資金について
- 平成28年度事業計画(案)及び予算(案)審議について
- 地域子育て支援拠点事業の廃止について
- つばさ園の定員変更について
- 定款変更の申請について
- 経理規程の改定(案)について

つばさ園・ももの木学園 特集



子どもの居室
小学一年生女の子の部屋



ももの木学園 児童玄関



お祝いに、京都厚生園、京都桂川園、にしがも舟山庵、ライフ・イン京都 様より桃の木をいただきました。この桃の木と一緒に私たちが成長しなければ…。



各ユニット毎に
夕食づくり

今日の献立
サケのちゃんちゃん焼
かぼちゃの煮物
棒々鶏サラダ
すまし汁



ももの木学園
園長
石坂好樹

情緒障害児短期治療施設（通称、児童心理治療施設）が平成28年4月1日に開園しました。児童養護施設つばさ園の改築に伴い、新たな建物が建ち、そこにつばさ園とももの木学園が併設されることになったのです。

児童心理治療施設とは、児童福祉法第43条の2に規定されている施設で、「軽度の情緒障害を有する児童を、短期間、入所させ、または保護者のもとから通わせて、その情緒障害を治し、あわせて退所したものについて相談その他の援助を行うことを目的」としています。ももの木学園の定員は、入所が35名で、通所が15名です。

情緒障害児短期治療施設（情短）が、わが国で初めて活動を開始したのは、昭和37年といわれていますので、半世紀以前の事です。当初は登校拒否や緘黙の子ども、そして夜尿やチックなどの神経性習癖を有する子どもなどが治療の対象になっていたようで

す。しかし、時代とともに情短での治療対象となる子どもの有する状態は変化し、最近では被虐待児の抱えている心理的問題やADHDの子どもが有する多動や衝動性、さらに軽度の自閉症スペクトラム障害の子どもが有する二次障害などが、その主要な部分を占めるようになってきました。

ももの木学園の役割は、そのような子どもの心理的治療を行うとともに、それぞれの子ども子どもとしての成長を保障することで、つまりは一人一人の子ども最善の利益をはかることでもあります。まだ始まったばかりですので、右往左往している日々が続いていますが、職員一同私たちに与えられた役割の重要性をしっかりと自覚し、目的に向かって努力をするつもりです。

ももの木学園自体が成長せねばなりません。「ももの木三年、柿八年」という言葉がありますが、10年ぐらいは成長を温かく見守っていただきたく、お願いいたします。そのためには今後法人職員のみなさんごの教示、ご鞭撻をたまわりたく、よろしくお願ひいたします。



つばさ園
園長
石塚かおる

あっという間の2年でした。たくさんの方に支えられての2年でした。その時々最善を尽くすよう心掛けてきましたが、なにぶん全てが初めてのことで戸惑うばかりで、ご迷惑やご心配をおかけしたと思います。ありがとうございます。大きな事故もなく建設が無事

終了し、ほっとしております。私が10年前に施設長になった時の夢・家庭に近い安心できる生活が、この合築でほとんど叶いました。とてもうれしく思っています。子どもたちはいつも元気で、新しい園舎でも活発に走り回っています。そんな姿を見るとこの間の忙し

さも吹っ飛びます。やはり最終的にはいつも子どもたちに励まされているなぁと思います。生きづらさを感じてつばさ園・ももの木学園にやってくる子どもたちが、少しでも元気になるように、安心できるように、社会へ巣立っていけるように、今まで以上に頑張らねば…そう思う毎日です。

ももの木学園の施設長に石坂先生をお迎えし、子どものみならず職員も大変安定感を感じております。新しく採用した職員は30人。今年度初めての全職員会議は70人以上！子どもも職員も、なんだかテンションの高い新年度の始まりです。新しい子ども、そして職員もよろしくお願ひいたします。

さて、この新しいメンバーたちと次はどんな夢に向かいますか…

つばさ園・ももの木学園 特集



一般用正面玄関「お客様はこちらから」



BBQ 日和 (グラウンドにて)



つばさ園 児童玄関



高校卒業のお祝い
今年は二人高校を卒業しました。



高校卒業のお祝い会
各ユニットより
手作りメニュー盛り



念願のドライ使用の厨房
衛生的になりました。

ももの木学園に想う

つばさ園 前園長 (評議員) 大江ひろみ



そもそも「ももの木」という発想は、桃源郷という夢の世界を描いた中国の詩人の陶淵明が語った中にあります。そんな発想は初代つばさ園長だった大江憲二先生です。この事は現園長の石塚かおる先生もそれにちなんだ碑を見つけて大切に玄関に置かれたりしています。今になって昔の子どもへの温かい夢、深い愛情をもって傾けていた育みを懐かしく思い出している所です。大江憲二から始まった養護施設への思いは、ももの木学園に繋がっている気が強くなります。温かい子どもへの思いは、戦後親から離れて子どもが暮らさなければならなくなった事への悲しい思いが溢れ出ていたと思います。そのような懐かしさだけでなく、今の置かれてい

る子ども達へ全部つないでいきたいと考えます。どんな時もどんな場面におかれた子どもでも、今のつばさ園の園長先生を始め、職員の方々が大切にされている養育の方針でかかわりが始められるなら、心配はいらない安全に安心へとつながっていくのではないのでしょうか。私はしっかりそう思います。つばさ園では、子どもの日常生活を何より大切に考えられています。それには暴力を許さず、暴言も認めず、子どもの中で小さな暴力すら認めない、徹底して話し合うというこの方針は他所では見かけない、人間にとって何よりも大切な心構えでしょう。明るく、楽しく、沢山悩んで大きくなって欲しいものです。